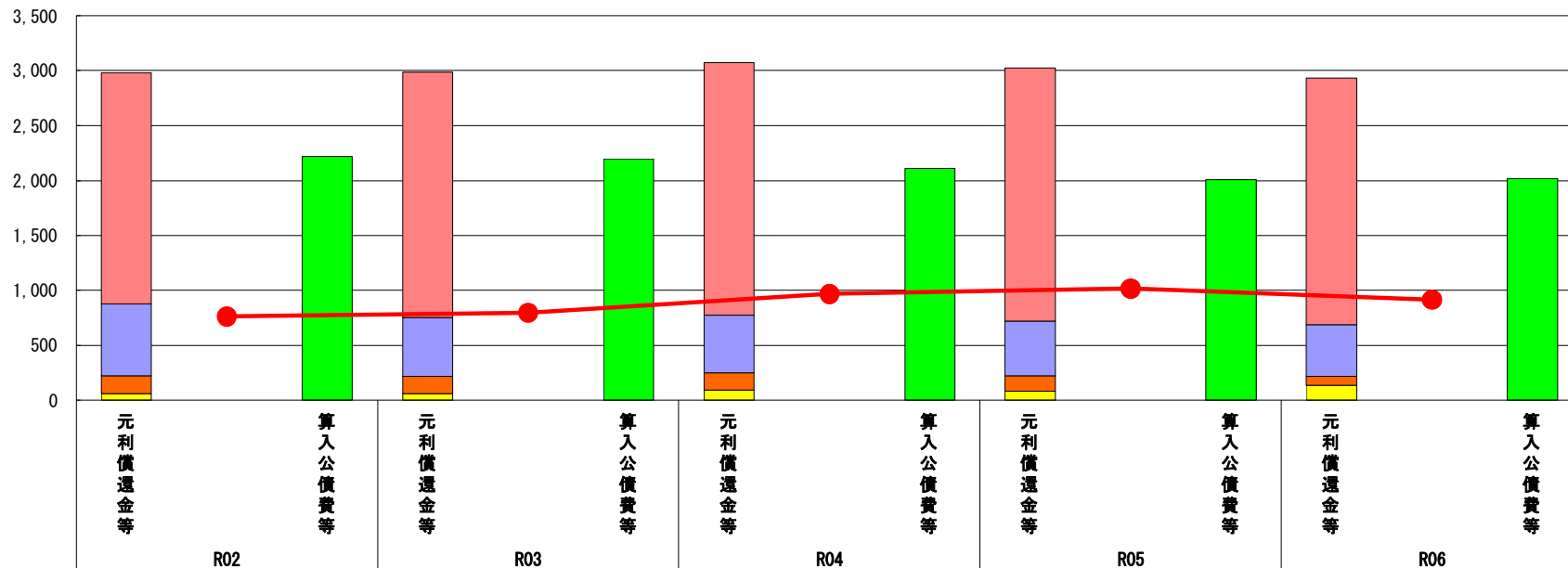


(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

岡山県笠岡市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,106	2,237	2,303	2,305	2,245
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		656	537	523	500	470
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		163	159	156	142	86
	債務負担行為に基づく支出額		58	57	93	80	132
	一時借入金の利息		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,219	2,196	2,109	2,011	2,018
(A) - (B)	● 実質公債費比率の分子		764	794	966	1,016	915

**分析欄**

一般会計における公債費や元利償還の繰出基準に基づく公営企業への繰入金、一部事務組合の地方債償還に対する負担金等がそろって減少したことで、比率の分子は減少した。今後も公営企業への繰入金や一部事務組合への負担金が減少することで、一時的に比率が下がる見込みではあるが、ごみ焼却場建設への負担金に対する市債の償還が本格化する令和10年度以降は比率が再び上昇傾向となる見込みとなっているため、ハード事業の実施について慎重に検討していく必要がある。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D) / (E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等 (注)		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)						
	前年度末減債基金残高 (D)						
	前年度末減債基金積立相当額 (E)						

**分析欄**

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。